

こんにちは、 日本共産党井上けんじです

日本共産党南地区委員会 ☎ 371-9164 自宅 ☎ (F兼) 691-3323 (携帯) 090-7880-9442
 日本共産党京都市会議員団 ☎ 222-3728 FAX 211-2130
 市会議員団ホームページ <http://cpgkyoto.jp/> E-mail info@cpgkyoto.jp 2019年10月13日号



市「地下避難所」の破綻とお粗末

胸張って「安全」との答弁の翌日に撤回

下京区の元植柳小学校の跡地に市がホテルを誘致、建設の為、地の災害時避難所を隣の公園の地下にと、事業者と市が計画していましたが、この計画が撤回・変更されることになりました。

紙先週号の左下記事にて紹介。計画の破綻とともに、経過から言っても、まことにお粗末な市の対応と言うべきです。

と少なく、税収構造が弱い。大阪は事業所が多いので固定資産税や法人市民税が多いのは当たり前。比較自体は無理がある。しかし個人市民税は逆に、京都の方が多いたが実際。



消費税増税の撤回を

5日夕方、消費税増税撤回を求める南区パレードが実施され、吉祥院病院前から近鉄東寺駅前まで歩きました。増税とともに「軽減税率」、キャッシュレス、インボイス（適格請求書）発行義務付け、免税業者にも無理難題の事務負担押し付け等、問題だらけです。



4日の市議会決算特別委員会、井上議員が中小企業対策について質問。産業観光局全体の予算のうち預託金

預託金除いた中小企業対策費は僅か2億円 井上議員が抜本的増額を求める

が大半を占め、預託金を除くと63億円しかありません。中小企業対策費で言えば、僅か2億4千万円しか残らないことを指摘しました。これは「中小企業対策は面に描いた餅だ」と批判。抜本的な増額を求めました。融資、中小企業費目とは、大事な業対策は、融資に留ま

までは「お金がない」と言っていたのに居直り。



京建労南支部結成50周年記念祝賀会に参加(10/6)

市の主な局の予算決算規模

保健福祉局	2053億円
子ども若者はぐくみ局	955億円
環境政策局	292億円
建設局	245億円
都市計画局	158億円
文化市民局	180億円
消防局	218億円 等々

度末には戻ってきません。各局の決算額は、ざっと、左の表のようになります。

産業観光局 2018年度決算額 A	408億7千万円
そのうちの中小企業対策費 B	347億7千万円
そのうちの預託金 X	345億3千万円
A - X =	63億4千万円
B - X =	2億4千万円

「預託金」とは、中小企業が銀行等から借りるお金の利子を低くするため、市が銀行等に預けるお金のこと(預託金の利子を企業の利子補給に充てる)